



港区コミュニティ情報ネット

ここは港区の情報ポータルサイト。最新の耳より情報がいっぱいです！

検索するキーワードを入力

検索

[Kissポートからのお知らせ](#)[今月のおススメ！](#)[イベント情報・チケット情報](#)[サークル情報](#)[施設案内](#)[港区探訪](#)[ふれあいコラム](#)[連載コラム](#)[地域人](#)[Kissポートギャラリー](#)[T 文字サイズ](#)[大きい](#)[ふつう](#)[小さい](#)[HOME](#) > [ふれあいコラム](#): 前田 憲男さん

ふれあいコラム

今、話題の人物をクローズアップ！

[バックナンバー](#)

作曲・編曲家

まえだ

のりお

前田 憲男さん

日本が誇る最高峰のジャズミュージシャン！ 5月に新人発掘Jazzライブを開催される前田憲男さんに、お話をうかがいました。



遊び道具は音楽

「親父が声楽に興味があって、うちにはレコードが沢山ありましたね。物心ついた頃から、それを勝手に、ひっぱり出してきて聴いてもいいことになっていました。つまり、遊び道具ですね。うちにはピアノもあったから、親父に教わるともなく弾くようになって」。こんな幼少時代があり、自然に音楽を吸収していかれたそうです。作曲することに対しての下地は小学校に入る前からあったそうです。「親父とのコミュニケーションの中で作曲してみろとかね。それから、中学の音楽の先生が徹底的に作曲を教える人だったので、それが私にとって非常にラッキーだったですね」。また、ご両親が教師だったこともあり、教師になるものだと思っていたという前田さんですが、「うちは学費を自分で稼がなくちゃいけなくて、ミュージシャンのバイトでいろんな場所に出演していたんですが、当時はそのバイト代がよかったんですよ。で、これは効率いいからって高校卒業してすぐこの道に入っちゃったんですね。それから、そのまま現在に至ってます」

アレンジャー+チャレンジャー

「仕事は全く受け身でね。金になりや〜何でも(笑)」と、ざっくばらんに語る前田さんはピアノからプロとしてスタートされ、途中アレンジャーに転身、指揮者としても活躍されています。「色々な仕事にチャレンジしていくなか、指揮をする機会があってね。全くの自己流だったんだけど、最終的にシンフォニーオーケストラを指揮する機会もできて。60名余りの前で振って、私について音が出てくるのが非常に気持ちいい。社長になったかのようにね(笑)。だから、今、指揮者が一番面白いですね」

ジャズの楽しみ方

ジャズの楽しみ方についてお聞きしたところ、「聴く方の自由ですね。小説や映画と同じで、受け取り手の自由なところがいいじゃないですか。同じ人でも、子供の頃に聴くのと、大人になって聴くのとでは違うでしょ？ それをどんな聴き方しなさいって言うのはジャズじゃないと思いますよ」

■プロフィール

1934年大阪生まれ。独学でピアノを習得し、高校卒業と共にプロ入り、1955年上京。

1957年から、名門「ウエストラインーズ」に在籍。そのピアニストとしての実力を高く評価されると共に、アレンジャーとしても頭角を現しステージ、テレビなど幅広い分野で活動を始める。1980年に日本最高のジャズプレイヤーを集めた「ウインドブレイカーズ」を結成、今日に至る。あわせて、羽田健太郎・佐藤允彦とのトリプルピアノや自己のトリオによる演奏活動を展開。

1983年レコード大賞「最優秀編曲賞」を受賞、ジャズ界の最高位に値する「南里文雄賞」を受賞。プレイはもとより作・編曲家としても日本を代表する一人であり、その音楽性は高く評価されている。

音楽をやめようと思ったことは一度もないという人生、今、振り返ると一番性分にあった仕事、それがミュージシャンだったという前田さん。最後に今後の活動についてお聞きすると「生涯現役であれば何も言うことなし。そして、ある日、バタンと死んでいたいね」



前田さんの直筆の自画像です。漫画家を目指されていたこともあったとか。

[▲このページのトップへ](#)

| [個人情報保護について \[PDF\]](#) |

Kissポート財団

(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーふらざ

電話: 03-5770-6837/Fax: 03-5770-6884

お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

 **Kissポート財団について**



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。